

●R6年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために令和6年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数	単位の	目標値	本年度の	実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)	目標等の公表先
362077_美馬市	②学校と地域の課題	学校支援ボランティアの確保・育成	学校支援ボランティアの固定化、担い手不足が課題となっており、授業補助や読み聞かせ、環境整備等、一部に負担が集中している現状がある。	昨年度は各中学校区ごとにボランティア募集のピラ配りや声掛け、市の広報誌にも掲載し、周知を行ったことにより、ボランティア登録者が増えた中学校区もあった。	コーディネーターやボランティアネットワークを活用し地域人材の掘り起こしを行うとともに、ボランティア募集を市の広報誌等で行い、学校支援ボランティアの確保と育成に努める。また、コーディネーター等の人材確保・育成を図るため研修会を実施する。	学校、家庭、地域の組織的、継続的な連携・協働体制を構築し、一部に集中する負担軽減を図るとともに、適切な役割分担のもと、子どもたちを育むための学校支援活動を推進する。	学校支援ボランティアの登録者数	287	人	300	500	03 本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた。	地域人材の掘り起こしを行うと共に人材育成を図る研修会を実施した。	https://school.e-tokushima.or.jp/mima_board/long-education/1074136/
362077_美馬市	③学校と家庭の課題	家庭等における学習習慣の定着	学校以外での学習できる環境の確保、教材の用意が十分でない生徒に対する学習支援	夏休み、冬休みで約30日間開始している。毎年、多くの生徒が参加している。	教員OBを講師とし、平日や休日の学習支援を30日設け、学習の機会を作る。(未来塾)	休日等の学習により、学校での授業の理解度を深める。	参加生徒数	40	人	45	58	03 本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた。	学校以外での学習の機会を多くの生徒に提供するため、周知の徹底や生徒の意向を踏まえることで、需要に応じた活動につなげていく。	https://school.e-tokushima.or.jp/mima_board/long-education/1074136/